

# Bishu Material Exhibition

【最終報告】

**会期3日間で814名が来場、うちオンライン展示会の来場者が225名  
1社平均419点のサンプルリクエスト**

シーズン	2022/23 秋冬
会期	令和3年10月5日(火) 13:00-18:00、6日(水) 9:30-18:00、 7日(木) 9:30-17:00
会場	アキバ・スクエア(リアル展示) 一宮地場産業ファッションデザインセンターWEBサイト(オンライン展示)

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター(以下、「FDC」)は、10月5日から7日までの3日間、「2022/23 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition(以下、「BME」)」を東京都千代田区外神田のアキバ・スクエアで開催した。22回目となる今回のBMEには尾州産地のテキスタイルメーカー11社が参加し、約700点の新作とFDCが提携しているパリのネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材約140点を展示して商談を進めた。今回は非接触による受付方法としてDMに印刷されたQRコードを読み込む方法(DM以外の方は名刺による受付)とし、また、前回(4月)のBMEに続き、来場できない層をターゲットとした「Bishu Material Exhibition Online」を同時開催した。

会期中の来場者は814名(リアルおよびオンライン展示会来場者数)となり、昨年の秋冬展の1,166名の約7割となった。リアル展示会の来場者数は589人となったものの、出展企業からは、素材をリアルに見てもらえたことにより、実りのある商談が行えたとの声が聞かれた。出展企業11社の合計サンプルリクエスト点数は延べ4,612点で、社数では延べ783社となった。各社共通の傾向としては、再生原料をはじめとしたサステナブル(持続可能)な生地が多く並び、環境配慮を意識したものとなった。

今回新たな取り組みとして「尾州PRコーナー」を設け、尾州マークの認証を受けた紳士・婦人服、一宮市公立中学校新制服などを紹介した。

会場では、前回同様受付の非接触化をはじめ様々な感染防止策を行うことにより、ウィズコロナの時代に合わせた形で、尾州産地を広くPRできたのではないかと考えている。

来場者の業種別内訳は次ページのとおり。

【以下、展示会各種数値】

＜第22回 2022/23 AW BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社 間屋	その他	オンライン	計
1日目	40名	3名	39名	26名	96名	204名
2日目	49名	6名	101名	40名	77名	273名
3日目	107名	5名	126名	47名	52名	337名
計	196名 (24.1%)	14名 (1.7%)	266名 (32.7%)	113名 (13.9%)	225名 (27.6%)	814名 (100.0%)

＜第22回 BME のサンプルリクエスト状況＞

	アパレル		小売		商社・間屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	61	287	22	135	57	319	0	0	140	741
2日目	98	479	14	60	134	765	0	0	246	1,304
3日目	172	891	7	45	214	1,616	4	15	397	2,567
計	331	1,657	43	240	405	2,700	4	15	783	4,612

【会場の様子】

▲QRコードによる受付



▲展示会 会場内



▲尾州 PR コーナー



＜本資料のお問い合わせ＞

(公財)一宮地場産業ファッションデザイン  
センター

事務局長 古田

電話：0586-46-1361

内線番号：7945